

左の写真が改修前の武雄市図書館の受付カウンター付近。壁上部のスリット窓から南光線を最小限受け入れコンクリート壁が反射材に使われている。冷暖の吹き出しが見えるが、この上部に閲覧バルコニーが増築された。右が改修後の写真。閲覧バルコニーの柱が通路に出てきて邪魔である。閲覧ルートも狭く迷路状況を呈している。人口照明に頼らざるを得ない状況が見えるが、高書架は冷暖房効率を落としているのではないか？2階の閲覧バルコニーには冷房が届かず急遽ラインファンが追加された？予想されたことである。

